

第 25-26 回合同千葉県理学療法士学会
優秀演題賞受賞者へミニインタビュー

フレッシュマン優秀演題賞
折原 将太 先生

松戸整形外科病院
リハビリテーションセンター



昨年度学会で優秀演題賞を受賞されました先生方へミニインタビュー♪

受賞者の先生方がどのような研究を行い、発表を通じて学んだことや今後の抱負について直撃取材したいと思います。インタビューを通じて多くの刺激が得られればと思います。

第4回は演題名「Leg-Heel-Angle の測定方法の違いによる評価の信頼性」にてフレッシュマン優秀演題賞を受賞されました松戸整形外科病院 リハビリテーションセンターの折原将太先生です！

フレッシュマン優秀演題賞おめでとうございます！受賞されました演題の概要を教えてください。

折原先生

Leg-Heel-Angle (LHA) の測定方法は、測定肢位や測定器具の違いなど様々であります。そこで本研究は級内相関係数 (ICC) を用いて各測定方法の検者内信頼性 (1, 1)、(1, 3) と検者間信頼性 (2, 1) を検討しました。測定方法はゴニオメーターを使用する方法 2 種類と ImageJ を使用する方法としました。結果はゴニオメーターを使用する測定方法において ICC (1, 1) は 0.7 以上であり、安定した結果が得られると考えました。一方、ICC (2, 1) は各測定方法において 0.15-0.45 であり信頼性は低いと考えました。

今回の学会発表を通して学んだことはありましたか。また、今後の抱負についてお聞かせください。

折原先生

学会発表を通して自分の考えが一つ形になり、不足している点に対してアドバイス頂けたことが良かったです。また、オンライン発表であった為スライドをどのようにしたら相手に伝わりやすくなるか考える必要があり、内容だけでなくアニメーションのタイミングや声のトーンなど気をつける点が沢山ありとても勉強になりました。今後も積極的に学会発表を行い自分の考えを発信出来る様に頑張りたいと思います。

折原先生、丁寧にご回答頂きありがとうございました。

今年度も多くの先生方にご発表頂けるよう、学会準備委員一同様々な企画を検討し鋭意準備を進めております！皆さまの学会参加、演題発表を心よりお待ちしております♪

